

友松会だより

平成 26 年度 総会報告号
発行責任者 会長 芦川 弘
平成 26 年 7 月 10 日 発行

平成 26 年度 友松会総会

平成 26 年 6 月 28 日 土曜日

会 場 ローズホテル 横浜

参加者 181 名

芦川友松会会長挨拶 (要旨)



本年度総会が横浜市で開催でき、誠に喜ばしいことです。

本日は、横浜国立大学

学長鈴木邦雄様をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、感謝申し上げます。

さて、友松会は、本年度で 126 年となります。「会員相互の親睦と向上を図り、母校の発展に貢献するとともに教育振興など文化の向上に寄与する」ことが目的として謳われております。

大学変革の状況を理解し、長い間に培われた友松会の良さを大切にしながら、望ましい活動を展開していきたいと思っております。

昨年の総会のスローガン「友松会の基盤強化の具体化と大学とのさらなる連携を図ろう」を、本年度は具体的行動へ移行することをねらいに「行動する友松会」を目標に掲げました。

「友松会の基盤強化を具体化する」ためには、まず「支部活動の活性化を図る」ことです。次に「会費納入会員の増強に取り組む」ことです。さらに「校友会事業をとおして大学との連携を強化する」ことです。

今年 10 月に YNU 校友会が設立されます。基幹 3 同窓会で物心ともに実質的支援をとの趣旨の一翼を担うべく、学生への就職支援等を行います。ホームカミングデー等の行事も、学生、同窓会、大学の共催となります。

本年は、「行動する友松会」を合言葉に頑張っていきたいと思っております。

最後に、会員皆様方のご健康とご多幸を祈念し、本日までご出席の方々に感謝して挨拶とします。

= 来賓祝辞 = (要旨)

横浜国立大学学長 鈴木邦雄様

友松会総会の地元開催に出席し、感激しています。大学の近況を述べて祝辞とします。

県教育界のリーダーの多くが、友松会会員であることは、有名な話です。時代のニーズで、発展的教職大学院の設置を準備中だが、これも、皆様のおかげと感謝しています。

本学もグローバル化が顕著で、この 2 年間に約 500 名の学生が海外経験をし、留学生は学部学生の 3%で、国立大学中で最多となりました。

昨年、「YNU プラウド文庫」を図書館内に設けました。友松会推薦の、蟹博士として有名な酒井恒先生をはじめ 3 名の方の業績を展示。社会で活躍された先輩を知り、学生が自分の将来像を描いてくれることでしょう。

YNU 校友会設立は、教員にならない卒業生も入会することで、同窓会の活性化につながると期待しています。

ホームカミングデー共催へのお礼の言葉で、ご挨拶を結ばれた。

横浜市教育委員会事務局 指導部指導企画課長

長谷川 祐子様

学校数は、政令指定都市で最も多く、方面別に 4 学校教育事務所を設け、横浜教育ビジョンに基づく教育に取り組んでいます。

本年は、945 名を採用したが、経験年数の浅い教員が増え、10 年以下 56%、5 年以下 34%です。教育の質の担保が緊近の課題であり、大学との連携を強固にして充実を図ります。

友松会の皆様には、本市の人材育成、教育施策や事業にお力添えを願いたいと、教育長代理のご挨拶をされた。

… 講演 … <要旨>

演題「放送の裏舞台」～表現の世界のおもしろさ～

NHKアナウンサー 石澤典夫氏

NHKに入ってから38年間になるが、大事だと思



ことが2つある。1つは健康で、もう1つは人である。細かいことに拘らず元気にやるのが一番である。またNHKは転勤が多

いが、そこで培ったことが自分を助けてくれる。人こそ財産であり、大切にしていきたい。

表現という世界は、生身の体から咀嚼をさせて言葉を出し、人に伝わっていく。

古典芸能の大家である山川静夫アナウンサーと出会い、表現の仕方を手取り足取り教えてもらった。今でも山川さんを囲む会がある。報道のレポートでは、手垢のついた言葉は使わず、取材しなければ出てこない表現をするように心がけた。インタビューは、とてもこわい仕事である。梅原猛さんや黒柳徹子さんや森光子さんのようなスペシャリストに話を聞くのだが、活字ではわからない表情や声を、映像を通して伝えていくことに苦心した。インタビューは、相手とのコミュニケーションの中で成り立っていくものである。忘れられない沢山の出会いがあったが、どんな時も傲慢になってはいけないと思っている。

☆ 松沢研究奨励賞 ☆

本年度松沢研究奨励賞受賞者

本多 響 (横浜市立三ツ沢小学校主幹教諭)

上関 哲士 (川崎市立新城小学校総括教諭)



懇親会

懇親会は、はじめに国大人間科学ぶ教授馬場



教授の祝辞があった。「形成28年春から本学において現職の教

員を対象とした教職員大学を設置する。また、松沢賞の受賞式を見て、今後是非、教育実践を続けてほしい」そして、金子前会長の乾杯の音頭で歓談がはじまった。

宴たけなわの頃、芦川会長が、男子2名、女子1名の新会員を紹介し、歓迎のことばを述べた。



新会員紹介

その後、本年度のHCDでメイン講演をする新田氏(元東洋太平洋バンタム級チャンピオン)を壇上に招き紹介をした。



新田氏紹介

校歌・学生歌斉唱・万歳三唱の後、次回平成27年6月

20日の川崎総会での再会を約し、およそ2時間の懇親会は閉会した。



恒例の万歳三唱